

自浄作用(じじょうさよう) | Natural cleaning

自然浄化作用ともいう。河川、湖沼、海域などの自然水域に流れ込んだ汚濁物質がそれらの水域のなかで自然にその濃度を減少させる作用を自浄作用という。とりわけ河川は流れと共に汚れを浄化する能力をもっている。自然浄化をもたらす要因としては沈殿、吸着、凝集、希釈などの物理的、化学的作用によるが、より本質的なものとして水中のさまざまな微生物による生物的酸化分解作用や泡による空気酸化作用があげられる。従って、汚濁物質はこれら微生物に分解されやすい構造を取っていることが必要であり、川床の付着微生物は水中の有機物を除き、水の浄化に役立つ。

(古澤)